

共同研究集会「極値理論の工学への応用」

日程：2015年1月26日(月) 13:30～17:15, 1月27日(火) 10:00～16:30

場所：統計数理研究所 3F セミナー室5 (〒190-8562 東京都立川市緑町10-3)

1月26日(月)

13:30 開会挨拶 北野利一

13:35-14:20 小林健一郎(神戸大学 都市安全研究センター)
物理モデルによる最悪クラス台風推定と確率降水量

14:20-15:05 田中茂信(京都大学 防災研究所 水資源環境研究センター)
我が国の降水量記録の統計解析(仮)

15:05-15:30 休憩★注

15:30-16:15 西郷達彦(山梨大学 医学工学総合研究部)
最高記録と極限定理

16:15-17:00 北野利一(名古屋工業大学 社会工学専攻)
12月8日に開催した数学協働ワークショップ報告
& (話題提供) 一般的な統計的検定で棄却する分布の裾の確率0.01と
極値解析で推定の対象となる分布の裾の確率0.01に意味の違いがあるのか?

18:00- 懇親会 (場所については、立川周辺にて現在検討中)

1月27日(火)

10:00-10:45 渋谷政昭(慶應義塾大学 名誉教授)
ホコとタテ(防災と極値統計)

10:45-11:45 鷺谷威(名古屋大学 減災連携研究センター)
招待講演：地震発生の長期確率評価とその問題点

11:45-13:15 昼食休憩★注

13:15-14:00 高橋倫也(神戸大学 名誉教授)
上位 r 個を用いる極値データ解析

14:00-14:45 志村隆彰(統計数理研究所)
最大値吸引領域の離散化に関する話題

14:45-15:00 休憩

15:00-15:15 外狩麻子(東日本旅客鉄道(株) JR東日本研究開発センター)
(話題提供) 2014年2月の大雪記録を今後活かすためには?

15:15-16:00 北野利一(名古屋工業大学 社会工学専攻)
レベル超過の生起率を対象にした2標本問題

16:00- 研究会打ち合せ(次年度の企画案など) 進行:北野利一
研究レポートの提出 志村隆彰